国、県の教育 新学習指導要領 令和の日本型学校教育

「有徳の人」づくり 文武芸三道の鼎立 未来を切り拓く多様な人材 社会総がかりで取り組む

富士宮市の教育 「富士山を心に夢をもって生きる子供」 継承と発展 縦の接続と横の連携

環境素材の活用

学校教育目標 『こころざしをもち、自ら学び、行動する子』

身但的的治的資質。能力

富士宮第三中学校 学校教育目標 心曹かに 共に学ぶ生徒

実際の社会や生活で生きて働く 知識•技能

①生活や既習と結びつける力 ②情報を活用する力

未知の状況にも対応できる 思考•判断•表現 ③根拠をもって考える力 ④分かりやすく伝えるカ

学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性 ⑤目標に向かってやり抜く力 ⑥振り返りを生かす力



学校経営目標

自ら考え、判断する力を高め、よさを認め合う学校づくり

①考えをもち、対話で深める学びの実現

- ・「めざせ、学びの達人」の定着
- ・「分かろうとして聴く」「分かりやすく話
- す」聴く力・話す力の育成 ・次の学びに生かす「振り返り」「自己評価」
- ② ICT 活用の工夫
- ・基本操作の定着、使うことへの慣れ
- ・情報モラルやきまりの徹底
- ・授業改善につなげるタブレット端末活用
- ③家庭学習の充実
- ・ 基礎基本の定着
- ・授業と結びついた予習や復習
- ・TCT を活用した学習
- ④進んで読書をする子を育てる読書活動
- ・朝読書の充実
- ・学年に応じた「お薦め百選」
- ・読み聞かせ(お話広場・教職員)
- ⑤学びたい思いを大切にした西の里学習

磨き合う子

- ①自己肯定感を高める活動
- 互いのよさを見つけ、認め合う場の設定 (よいこと見付け・ありがとうカード等)
- ・相手も自分も大切にした自己表現力を身 に付ける「友トレ」(人間関係プログラム) ②自主性を育む特別活動
- ・異学年の仲を深め、リーダーシップと協力性 を育てる縦割り団活動
- ・子供の創意を生かした児童会・委員会・ 学級の活動
- ・進んで働くことのできる子供を育てる 「だいじ掃除」
- ・学期や行事を振り返り、自分の成長に気 付く「キャリア・パスポート」
- ③自己の生き方を考える道徳教育
- ・「徳(talk)の日」の家庭との連携
- ・学年だより、道徳だよりの活用
 - 自分ごととして考える授業の工夫

鍛え合う

- ①安全・安心な学校生活
- ・感染症対策「新しい生活様式」の徹底 安全な生活のための知識、・技能を生活 に生かすKYT(危険予測トレーニング)
- 栄養や食事の取り方をを考えることがで
- きる「食育指導」の実践。 生命の尊さを学ぶ授業(保健、道徳)
- ②基本的な生活習慣
- ・早寝・早起き・朝ご飯の習慣化
- ・2分前着席、1分前黙想を徹底
- ・「気持ちのよいあいさつ」ができる工夫
- ③目標に向けた粘り強い挑戦
- ・新体力テスト、チャレンジ・ランニング、縄跳び、 体力アップコンテストに向けて、目標を設定し 記録更新をめざした練習
- ・運動量を増やし、基礎的な運動能力を高 める朝運動、体育の授業

SDGS ED TRIFTS

学校評議員・地域協力者からの意見

教職員の自己評価 研修の振り返り

成果と課題

- ・先生はきちんと教えてくれる
- ・楽しい学び合いと分かる授業
- ・家庭学習の習慣
- ・地域の方との学習は楽しい
- ・学校が楽しい

学校評価

9 5 %

90%

90%

95%

・自分や友達のにはよいところ

月毎の生活目標の振り返り 生徒指導部会 PDCA

- ・道徳は自分を振り返る良い機会
- ・安心した学校生活
- 話をよく聞いてくれる
- 93%
- 85% 93%
- 90% 90%
- ・自分で進んで取り組める活動
- ・自分がとるべき行動が分かる
- ・地域行事や防災訓練への参加
- 9 5 % 80%

90%

90% ・あいさつ、きまり

課題への具体的な改善

- ○1学期末の学校評価を生かした、2学期以降の活動の修正
- ○毎月の生徒指導部部会・研修部会での振り返りと次への取組の提案
- ○分掌ごとの部会での改善策や取組の提案
- ○教務会・職員会議・打合せでの共通理解

■学校・家庭での子供の様子が分かる

- →学校と家庭との細やかな連携 (家庭生活習慣カード・連絡帳・電話)
- ■家庭生活の習慣づくり
 - ・家庭学習の習慣化 (低)30分(中)45分(高)60分
 - ・授業と結びついた家庭学習
- ・歯磨きの習慣づくり
- ■徳(talk)の日…年8回
- →親子で道徳 道徳だより (年3回)
- ■学校の取組の伝達
- →学校 HP、学校・学年だより

信頼される教職員

- ■子供の心に寄り添った指導
- →傾聴を心掛け、子供の思いに耳を傾ける。子供が┃ 納得できるまで話し合う。
- ■誰もが安心して学べる指導
- →教師が率先してよさを見付け、ほめ・認め、温 かく受容的な学校・学級をつくる。
- ■いじめを絶対に許さない集団づくり
- →一人一人の心を育てる指導(未然防止と早期対応)
- ■楽しく・分かる授業の実践 →子供の立場に立った授業研究、困り感に寄り添う
- ■子供の命を守る
- →危険予測、安全点検、自分の命と体の守り方指導 ■チームで子供を育てる
- →同一歩調の指導。保護者・外部機関との連携 心身ともに健康な教職員 働き方改革

西の里の記

■地域の人々から学ぶ 「ふるさと学習支援の会」

- ・「敬老会」…七夕の会・お月見の会、 米・野菜作り、グラウンドゴルフ
- ・お話広場 ・地域の事業所
- ・くらりか(東京工業大学OB会)、
- ■地域の大人とのかかわり
 - ・登下校の見守り隊 ・地域防災訓練
 - ・清掃ボランティア
 - ・社会科見学への協力
- ■「感謝する会」…西の里の会へ感謝 の気持ちを伝える

PTA理事会・総会

学校評議員会